

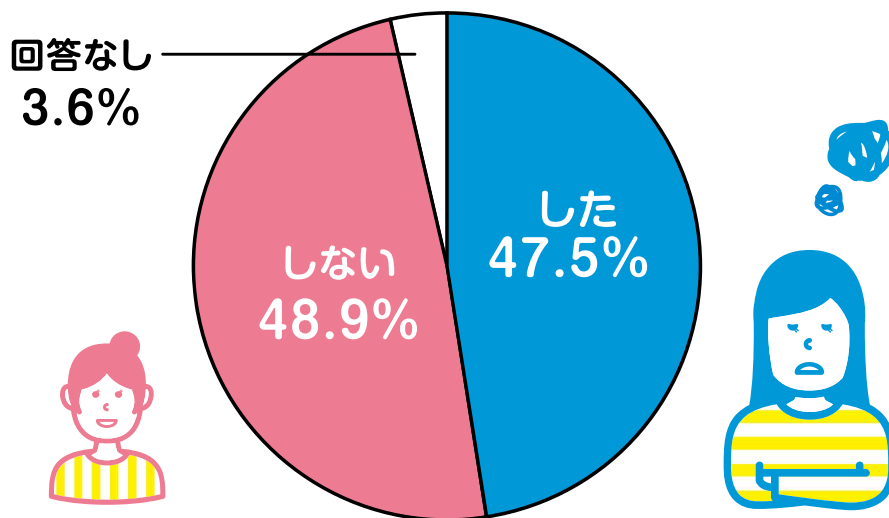
社会にある差別の現状

4. 被差別体験

日本障害フォーラム(JDF)が、2018(平成30)年1月30日から同年5月15日にかけて、障がい当事者を対象に、「障害者差別解消法に関する障害当事者アンケート調査」を実施しました。

その調査の中で、法律が施行された以降に、障がいを理由とする差別の経験について聞いたところ、「経験した」47.5%とあり、約2人に1人が差別の経験があると回答しています。

障がいを理由とする差別の経験



さらに、**差別と考えられる経験をした人**に、相談をしたかどうかを聞いたところ、76.6%の人が相談していないと回答しています。

相談の有無

相談しなかった理由

- 相談窓口を知らない
- 相談しても解決しないと思った
- 相談する時間がない
- 我慢すればいいと思った
- 相談したら差別した人から何か言われそうで怖い

